

令和元年5月22日

網走漁協 ホタテガイ採苗関連調査結果

網走東部地区水産技術普及指導所

能取岬と4号ではラーバの出現数が減少しました。珪藻の多い状況が続いています。

- 5月22日に5回目の浮遊幼生調査を実施しました。
- 依然として珪藻が多い状況です。
- 能取岬と4号では前回より少ない出現数でした。総数で、能取岬 10.0 個、4号 25.3 個、6号 52.9 個（いずれも海水 1 トン当たり）でした。
- 水温は、4号と6号では若干低めです。また、能取湖沖水深 60m 地点の 20m~25m の水深帯には 1℃台の冷たい水塊があります。
- 5/13~22 の試験採苗器には能取岬 31 個、4号 10 個の付着でした。

表1 ホタテ浮遊幼生出現数

調査月日	5月22日		
	能取岬	4号定置	6号定置
調査地点	能取岬	4号定置	6号定置
水深(m)	18	20	19
曳網水深(m)	17	19	18
殻長(μm)	1トン当たり個体数		
120			2.2
130			
140	1.7	3.0	8.9
150	3.3	8.2	11.9
160		3.7	7.4
170	0.8	3.0	3.7
180		1.5	3.0
190		1.5	3.7
200		1.5	4.5
210		0.7	1.5
220		0.7	0.7
230		0.7	
240			0.7
250	2.5	0.7	1.5
260			1.5
270			0.7
280	1.7		
290			0.7
300			
310			
合計	10.0	25.3	52.9
その他二枚貝	43.3	75.2	137.1

表2 水温・塩分観測結果

水深(m)	能取岬		4号		6号	
	水温(°C)	塩分(PSU)	水温(°C)	塩分(PSU)	水温(°C)	塩分(PSU)
0	6.42	33.13	5.81	33.09	5.69	33.03
5	7.98	33.34	5.51	33.09	5.58	33.11
10	7.23	33.24	5.50	33.12	5.52	33.11
15	6.12	33.15	4.85	33.14	5.43	33.10
底層	5.83	33.08	4.47	33.05	5.32	33.10

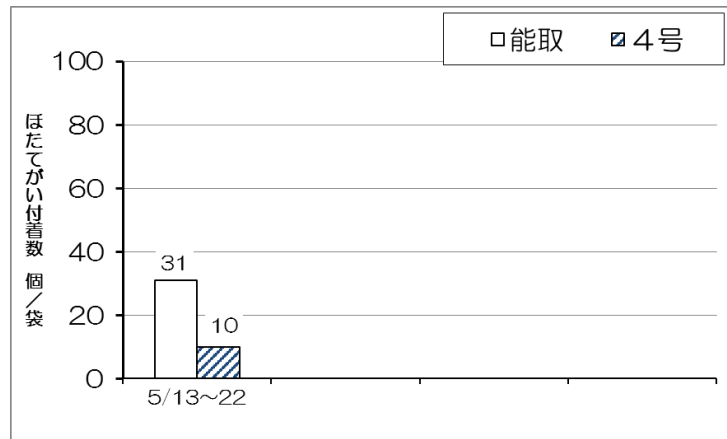


図1 試験採苗器の結果